

平成 16 年 11 月 11 日

各位

会社名 株式会社ディーアンドエムホールディングス  
代表者名 代表執行役 CEO 株本 辰夫  
(コード番号 6735 東証第2部)  
決算期 3月31日  
問い合わせ先 執行役 CFO 本多 慶行  
TEL 042-748-7700

### 連結および個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 8 月 25 日の平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）第 1 四半期の概況発表時に公表した当中間期連結業績予想及び平成 16 年 5 月 20 日の平成 16 年 3 月期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）個別財務諸表の概要発表時に公表した当中間期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当中間期連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	41,700	650	900	550
今回修正予想（B）	41,000	790	960	260
増減額（B - A）	700	140	60	290
増減率	1.7%	21.5%	6.7%	52.7%

（金額の単位：百万円）

（修正の理由）

連結業績予想を売上高 410 億円、営業損失 7 億 9 千万円、当期純損失 2 億 6 千万円に修正いたします。

当期純損失の減少については、主に都市再開発による所有不動産の権利変換益(約 6 億円)を特別利益として計上することによるものです。売上高、営業利益及び経常利益については、平成 16 年 8 月 25 日公表の予想と大きな乖離はありません。

プレミアム AV 事業の売上げには、セールス・マーケティング組織への地域マネジメント制導入の成功や新製品の堅調な推移等を織り込んでおります。一方デジタルネットワーク事業においては、一部新製品の導入遅延を織り込んでおります。

営業利益についてはコスト削減が遅れたことによる製造コスト増やセールス・マーケティング組織への地域マネジメント制導入に伴うコスト等がマイナスの影響を与えています。

2. 当中間期業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,000	700	600
今回修正予想（B）	6,650	740	630
増減額（B - A）	650	40	30
増減率	10.8%	5.7%	5.0%

（金額の単位：百万円）

（修正の理由）

日本におけるデジタルネットワーク事業の売上が好調なため、売上予想を上方修正いたします。

以上